

事前復興について語る

加藤孝明

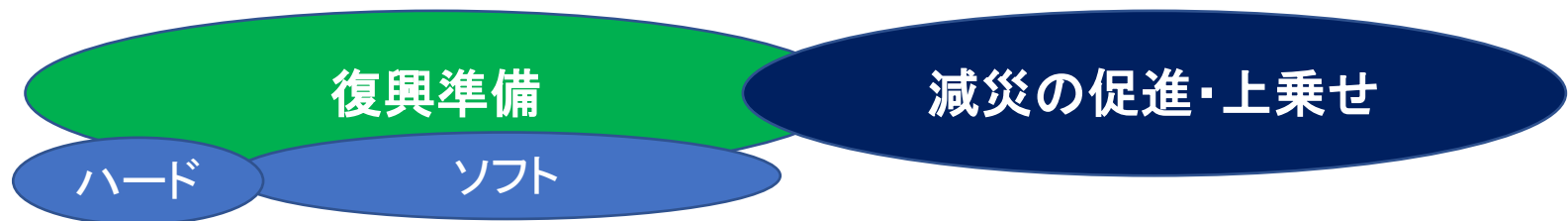
東京大学生産技術研究所・教授

東京大学社会科学研究所・特任教授

(まちづくり, 都市計画, 地域安全システム学, 防災)

「事前復興」の意味＝復興準備と減災の促進・上乗せ

- 防災基本計画1998年の抜本的見直し
→ 「復興対策の充実」
- 事前復興とは
(中林一樹 首都大学東京名誉教授(明治大学特任教授)による)
 - ①被災後に進める復興対策の手順や進め方を事前に講じておく。
 - 地域防災計画の復興対策への位置づけ
 - ②復興における将来目標像を事前に検討し、共有しておく。
 - 都市マス、長期総合計画に位置づけ
 - ③被災後の復興事業の困難さを考えると、事前に復興まちづくりを実現し、災害に強いまちにしておくことこそ、究極の事前復興計画である
 - 脆弱な市街地での「防災市街地整備」として推進



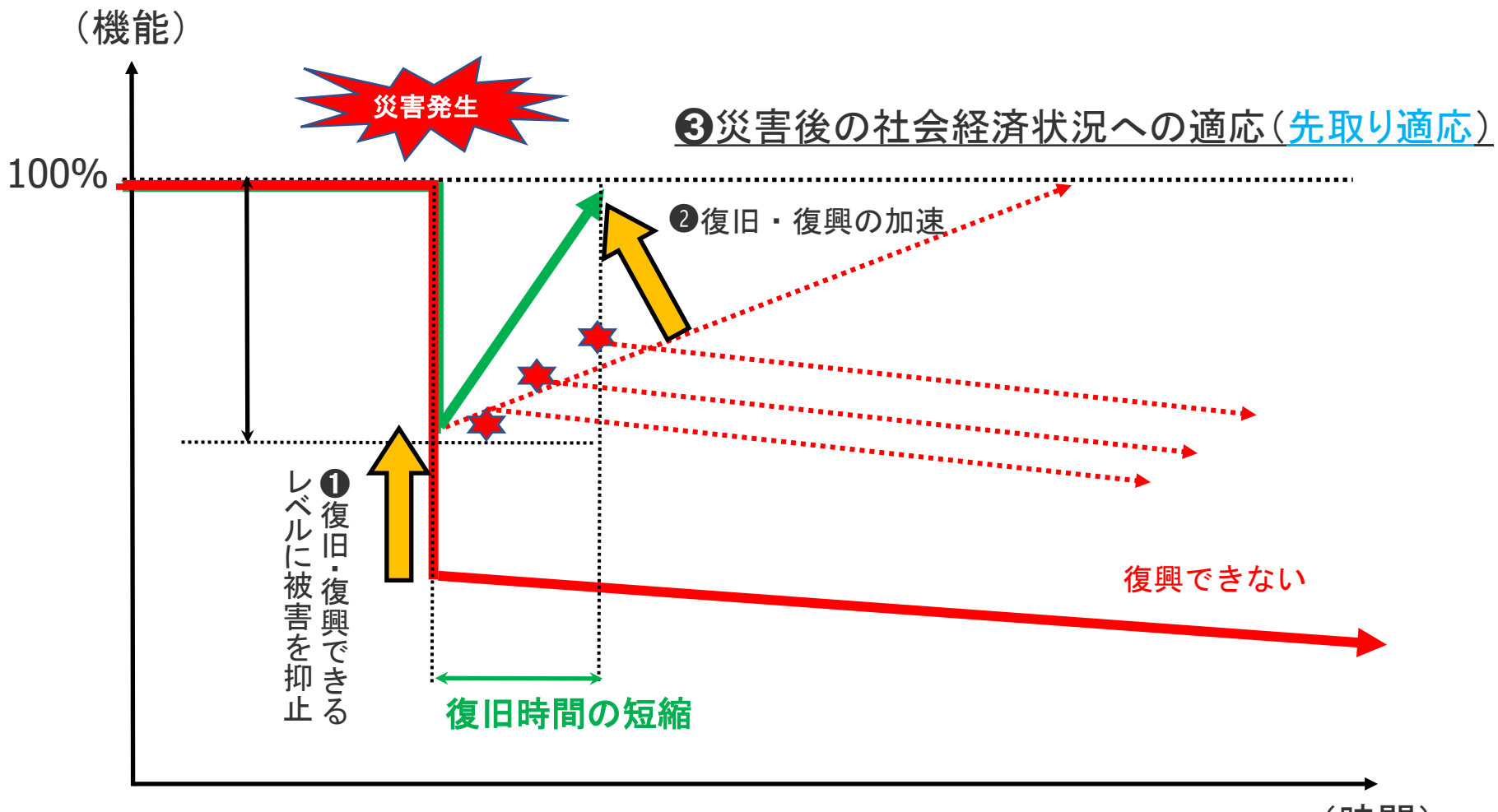
復興準備: 復興を視野にいれた事前の備え

これからの時代:
復興できない状況も視野に入れる必要がある

レジリエンスを構成する3つの要素

- ① 復旧・復興できるレベルに被害を抑止
- ② 速やかな復旧・復興
- ③ 災害後の社会経済状況への適応(先取り適応)

- 防災・減災の上乗せ
- 復興を加速させるための準備
- 復興のボトルネックの事前解消
- 復興の目標像の事前検討



②速やかな復旧・復興：多様な復興準備

・ ソフト：マニュアル等の作成・検討

- ・ マニュアル習熟のトレーニング：行政職員、住民（東京都，区部）
- ・ 復興イメージトレーニング（国土交通省手引き，さいたま市他多数）
- ・ 事前の復興計画（高台移転計画）の策定支援（和歌山県）

復興を加速させるための準備

・・・阪神・淡路大震災以降

・・・阪神・淡路大震災以降

・・・2008年頃～

・・・東日本大震災以降

・ ハード：

- ・ 応急仮設住宅用地の事前確保（徳島県美波町）

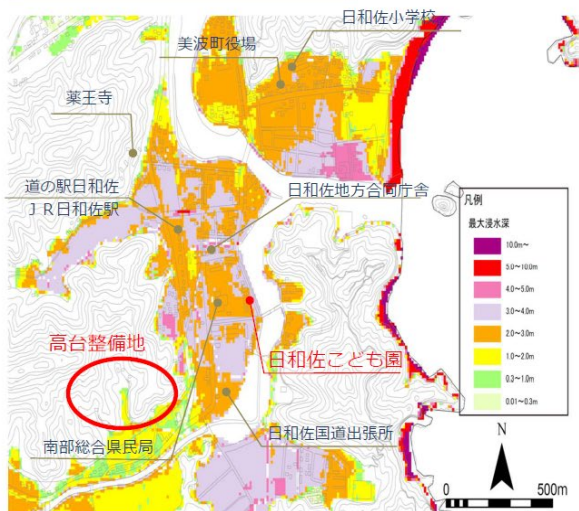
復興のボトルネックの事前解消

・・・東日本大震災以降

～災害に強いまちづくり～



多様な高台整備推進：公共施設



多様な高台整備推進：公共施設



高台整備イメージ

②速やかな復旧・復興：復興準備（ソフト：マニュアル等の作成・検討）

典型的な2つの視点

「マニュアル作成・習熟型」から「事前・復興課題理解, 政策検討型」へ転換

東京都型

狙い球を絞って
確実に打つ

円滑, かつ, 速やかに!

事前に復興の型が分かっている場合

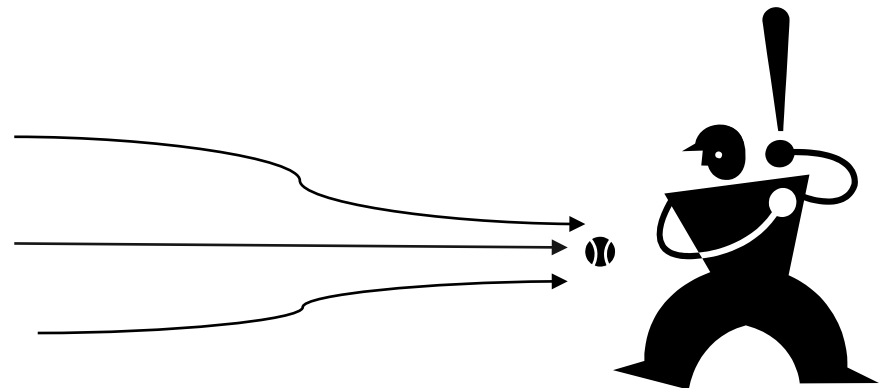


復興まちづくり
イメージトレーニング型

イメトレ型

あらゆる球筋, 球種に
備える

適切に!



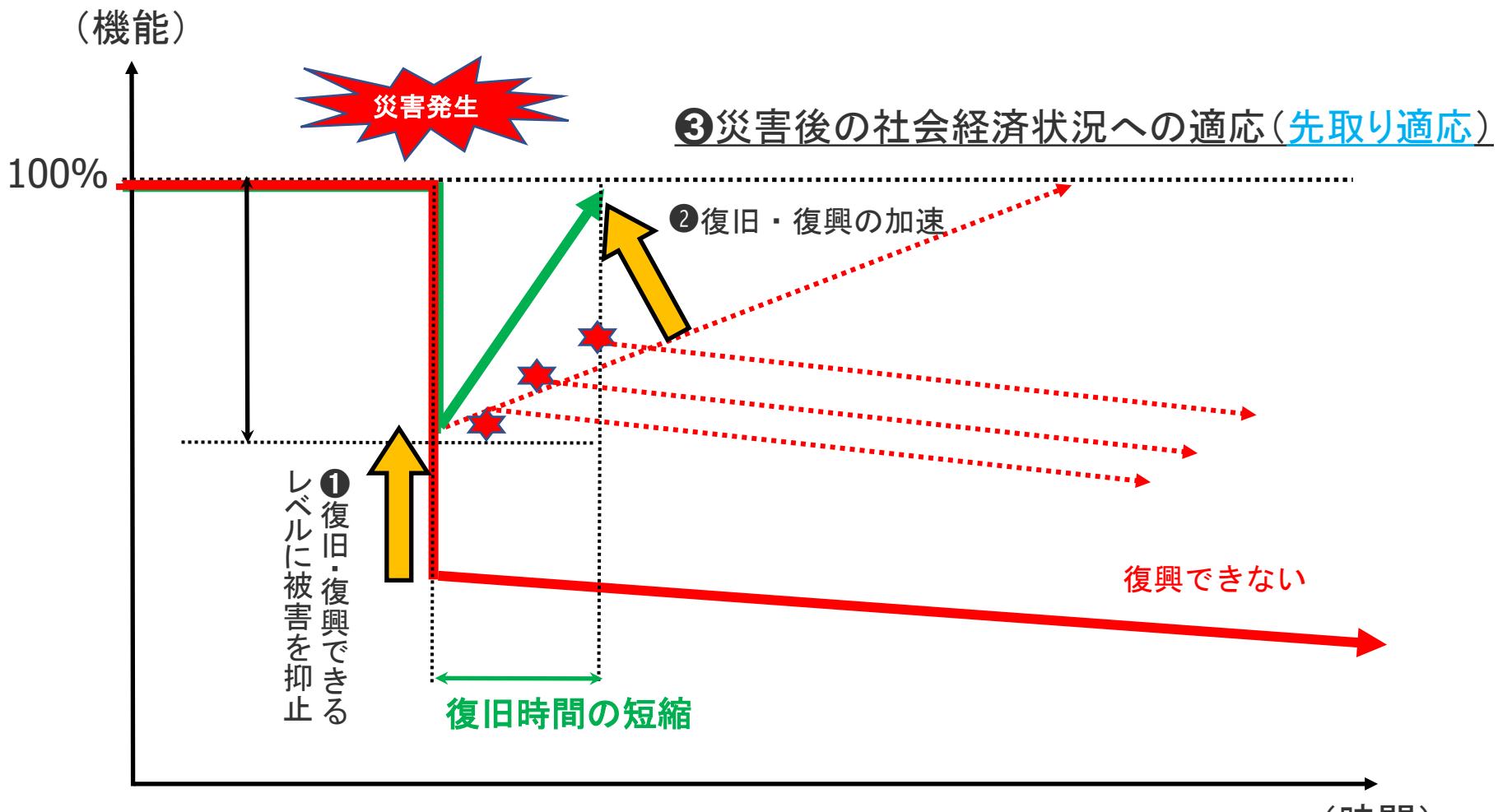
復興準備: 復興を視野にいれた事前の備え

これからの時代:
復興できない状況も視野に入れる必要がある

レジリエンスを構成する3つの要素

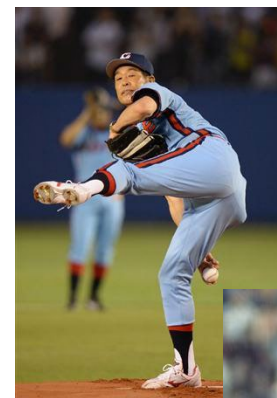
- ① 復旧・復興できるレベルに被害を抑止
- ② 速やかな復旧・復興
- ③ 災害後の社会経済状況への適応(先取り適応)

- 防災・減災の上乗せ
- 復興を加速させるための準備
- 復興のボトルネックの事前解消
- 復興の目標像の事前検討



③ 災害後の社会経済状況への適応(先取り適応)

- 村田兆次(1968-1982-1990)
 - カムバック賞: 右ヒジを壊した後、速球派のまま回復(1985)
- 鈴木孝政(1973-1982-1989)
 - カムバック賞: 右ヒジを壊した後、速球派から軟投派に転じ、先発転向もあり見事受賞(1984)
- 西本聖(1976-1987-1993)
 - カムバック賞: 3年連続一桁勝利の後、巨人から中日に移籍。移籍初年度に20勝で最多勝獲得した(1989)
- 山本昌(広)(1987-1995-現役)
- 今中慎二(1989-1997-2000)
- 与田剛(1990-1993-2000)



③ 災害後の社会経済状況への適応(先取り適応)

- 坂東英二(1959-1969)
- 通算成績: 在籍・実働11年435登板77勝65敗



速球派

肉体的強靱性
体調管理

累積投球数

故障

肉体的故障の質・程度

治療・手術内容

取り巻く環境(家族・周辺の支え)

精神力
肉体的回復力

取り得る選択の幅: **変われる力**

転職: タレント

速球派

軟投派

転職: コーチ

技巧派

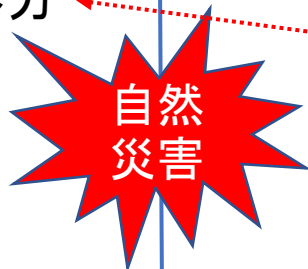
転職: 解説者

被災前の地域

「強靱性」

物的環境の強靱性
維持管理

災害の外力



「感受性」

災害の質・程度

復旧・復興施策の内容

「弾性エネルギー」

外的条件 (近隣市との関係: 産業連関等)

地域の経済的回復力

地域の文化的社会的回復力

地域に内在する
説明変数

「可変性」

地域に内在する
説明変数

取り得る選択の幅: 変われる力

転職

転職: タレント

元に戻る

技巧派

軟投派

具体的なオプション? 都市における技巧派, 軟投派とは?

Build Back Better



常磐炭鉱閉山
(1955～縮小, 1976閉山))

変わること



常磐ハワイアンセンター(1966)
現・スパリゾートハワイアンズ



2006



「災害復興の6つの法則」

Takaaki Kato, Yasmin Bhattacharya, et al The Six Principles of Recovery: A Guideline for Preparing for Future Disaster Recoveries Journal of Disaster Research, Vol.8(7), 737-745, 2013.7

① どこにでも通用する処方箋はない。

- **時代**, 災害特性, 地域特性が違えば, 異なる処方箋が必要

既存の復興政策は常に陳腐化する

② 災害・復興は社会のトレンドを加速させる

- 過疎化している地域では, 過疎化が加速.
- 成長する地域では, 成長が加速.

時代を先取りすることが重要

③ 復興は, 従前の問題を深刻化させて噴出させる。

復興に備えた事前準備が可能, かつ, 重要

④ 復興で用いられた政策は, 過去に使ったことのあるもの, 少なくとも考えたことがあるもの

⑤ 成功の必要条件: 復興の過程で被災者, 被災コミュニティの力が引き出されていること ≡〇〇事業を完了させること

⑥ 成功の必要条件: 復興に必要な4つの目のバランス感覚 + α (外部の目)

- 時間軸で近くを見る目と遠くを見る目
- 空間軸で近くを見る目と遠くを見る目

目の前の現象への対応ではない